

地域住宅計画の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した地域住宅計画	
①計画の名称	赤平市
②都道府県名	北海道
③計画作成主体	赤平市
④計画期間	平成17年度 から 21年度
⑤計画の目標	「適切な居住機能の確保を基本とした建替・維持保全を行う。」 「効果的な維持管理にむけた団地の集約・再編。」
2. 事後評価の内容	
⑥実施体制・時期	赤平市において評価を行い確定（平成22年7月）
⑦事後評価の結果	指 標 ①：「浴室がある住戸の割合」 定 義：赤平市内の公的住宅の浴室がある住戸の割合 評 価 方 法：公営住宅の管理戸数資料を用いた調査 結 果：従前値：49%（17年度）⇒目標値：54%（21年度）⇒実績値：59% 結果の分析：公営住宅における風呂なし住宅の解消については、建替建設戸数は伸び悩んだが、団地集約を含む老朽化住宅の除却が計画より成果をあげ、目標値を達成した。 指 標 ②：「水洗化トイレがある住戸の割合」 定 義：赤平市内の公的住宅の水洗化トイレがある住戸の割合 評 価 方 法：公営住宅の管理戸数資料を用いた調査 結 果：従前値：46%（17年度）⇒目標値：52%（21年度）⇒実績値：59% 結果の分析：公営住宅における水洗化トイレについては、建替建設戸数は伸び悩んだが、ストック改善事業及び団地集約を含む老朽化住宅の除却が計画より成果をあげ、目標値を達成した。 指 標 ③：「3箇所給湯完備住戸の割合」 定 義：赤平市内の公的住宅の台所・浴室・洗面所の3箇所給湯完備住戸の割合 評 価 方 法：公営住宅の管理戸数資料を用いた調査 結 果：従前値：16%（17年度）⇒目標値：19%（21年度）⇒実績値：22% 結果の分析：公営住宅における3箇所給湯については、建替建設戸数は伸び悩んだが、団地集約を含む老朽化住宅の除却が計画より成果をあげ、目標値を達成した。
⑧結果の公表方法	赤平市のホームページにて公表を行うとともに、窓口にて閲覧可。
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨今後の住宅施策の取組への反映	3指針とも目標値を上回っているが、共同浴場利用者の減少等により閉鎖が進み、風呂なし住宅の解消及び居住性の向上のため建替の促進・維持保全に努める。 平成21年度策定した「赤平市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、北海道（第2期）地域住宅計画により、効果的な維持管理にむけた団地の集約・再編を促進する。
⑩その他	

※ この事後評価は別添の地域住宅計画について行ったものである。